

2022年12月期株主優待制度のご案内

当社は、株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社の魅力をより多くの方々にご理解いただき、当社株式を中長期的に保有していただくことを目的として、株主優待制度を導入しております。2022年12月31日時点の株主名簿に記録された、当社株式を100株以上保有の株主様に、保有株式数及び保有年数に応じて優待品を贈呈いたします。2022年12月期の株主優待内容は次のとおりです。

保有株式数100株以上の 全株主様対象	選択制優待品及び寄付	1,000円相当 (100株以上 1,000株未満)	2,000円相当 (1,000株以上 3,000株未満)	4,000円相当 (3,000株以上)
<p>オンラインショップ 「片倉の国産はちみつ専門店」で 利用できる10%OFFクーポン進呈</p> 	<p>3年未満保有で1点 / 3年以上保有で2点 <input type="checkbox"/> 選択可</p>  <p>国産はちみつ 紳士肌着 婦人肌着</p>	 <p>株主様御優待券 コクーンシティで 利用できます</p>	 <p>富岡製糸場への寄付</p>	
	※上記優待品は一例です。※画像はイメージです。			

ご報告 株主様からお預かりした寄付金を世界文化遺産「富岡製糸場」へ贈呈いたしました。

2021年12月期の株主優待で「富岡製糸場への寄付」を選択された株主様78名から合計228,000円をお預かりし、2022年5月27日、富岡市に寄付いたしました。この寄付金は2014年12月期から累計で874名、2,408,000円となり、富岡製糸場の保全管理や今後の活動に役立てられています。ご賛同いただきました株主の皆様に、心より御礼申し上げます。

ホームページのご案内

当社ホームページでは、株主・投資家の皆様をはじめとするステークホルダーの皆様に、適時・適切に情報を開示しております。



「お問い合わせ・よくあるご質問」のご案内

2022年12月に「お問い合わせ・よくあるご質問」を新設いたしました。「株式情報」「株主優待」に関するご質問等、株主様からのご関心の高いご質問につきまして、回答を掲載しております。ぜひご利用ください。



IRカレンダー

通期決算発表			第1四半期決算発表			第2四半期決算発表			第3四半期決算発表		
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		アナリスト向け 決算説明会									
		定時株主総会									アナリスト向け第2四半期決算説明会

カタクラ
片倉工業株式会社

証券コード:3001

第114期 報告書

2022.1.1-2022.12.31

株主・投資家のみなさまへ

CONTENTS

トップインタビュー	P.1
150周年のあゆみ	P.5
カタクラの未来をつくる“仕事”と“人”	P.7
コクーンシティ通信	P.9
人的資本の拡充に向けた取り組み	P.11
事業部門の概況	P.13
会社概要・株式の状況	P.14

KATAKURA
150th
ANNIVERSARY

Top Interview

トップインタビュー

おかげさまで、
 当社は2023年に創業150周年を迎えることができました。
 お客様・株主様をはじめとするステークホルダーの
 皆様のお力添えに心より感謝申し上げます。
 これまでの感謝を胸に、新たな時代へ向け邁進してまいります。

当社は、1873年の創業から社会や地域の皆様とともに歩んできました。
 厳しい事業環境が続いておりますが、新たな時代を生き抜いていくための事業の発展と次世代を支える
 人材の育成に一層注力し、時代とともに変化する社会のニーズにお応えできるよう努め、200年企業を
 目指してまいります。



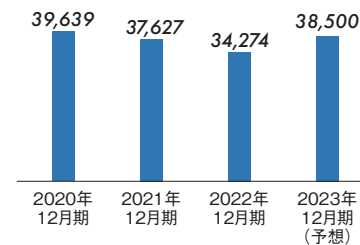
創業150周年を迎えての想いをお聞かせください。

A. 創業150周年を迎えるにあたり、当社の歴史について改めて振り返る機会も多く、1873年(明治6年)の創業以来、移り変わる時代とともに長きにわたって事業を続けてきたことの重みや、創業者の想いや信念を継承していくことの大切さを改めて実感しております。

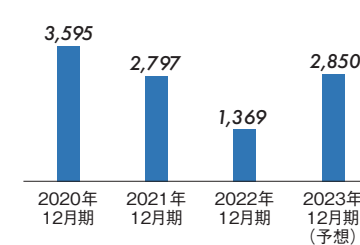
代表取締役社長
 上甲 亮祐

■ 連結財務データ

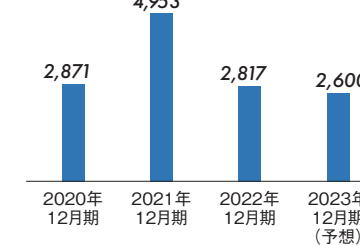
売上高
 (百万円)



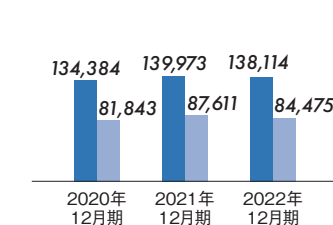
営業利益
 (百万円)



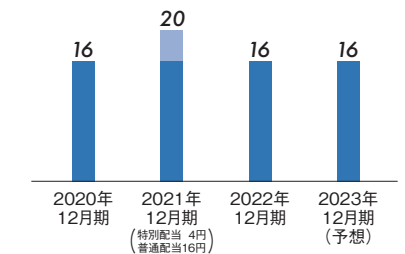
親会社株主に帰属する当期純利益
 (百万円)



総資産／純資産
 (百万円)



配当金
 (円)



Q 構造改革への取り組みと昨今の経済情勢による事業への影響についてお聞かせください。

A. 当社グループは、2017年から構造改革に着手し、2018年から2019年の間に、不採算事業からの撤退あるいは大幅縮小を決断しました。そして、その決断に伴って大規模な人員削減を実施せざるを得ない状況となりました。また、事業ポートフォリオが大きく変化することが想定されたため、中期経営計画を取り下げることとしました。

一連の構造改革は大変苦しい決断でしたが、2020年末には一定の目処が立ち、収益力改善を達成することができました。

そして、いよいよ成長事業に舵を切っていくタイミングで、新型コロナウイルス感染症が流行し始め、瞬間に世界中へ拡大し、経済のみならず人々の行動様式に至るまで大きな影響を及ぼしました。当社においても不動産事業では市況の急激な変化を受け、それまで検討していた新規開発計画を凍結し、抜本的に計画を見直しせざるを得ない状況となりました。また、医薬品事業では新薬開発において臨床試験の遅れが発生いたしました。加えて、毎年の薬価改定の実施やジェネリック製品不良問題等の大きな環境変化も重なり、それらに対応していくためには、一層の構造改革が必要となりました。足元の課題を先送りすることなく対処するため、コスト構造の見直しに取り組むとともに、将来に向けたビジネスモデルの再構築を検討してまいります。

それ以外の事業においても、円安やロシア・ウクライナ問題によるエネルギーコストの高騰、更には世界的な半導体不足の影響から、一層の事業安定性と採算性の改善に取り組む必要があります。



Q 今後の成長戦略についてお聞かせください。

A. 成長戦略と位置付けている不動産事業は開発が一巡しておりますので、今後、新規投資を行うにあたっては、現在収益を生み出している稼働中の事業を一時的に休止させることになります。その間の収益を支える新たな事業の柱を創出するため、M&A等の新規事業への取り組みを一層強化し、推進しなければなりません。小さい規模ではありますが、昨年9月に当社の連結子会社であり、清掃・緑化事業等を展開する(株)片倉キャロサービスが、造園・植木メンテナンス事業を展開する(株)ガーデンエクスプレスを買収いたしました。当社グループにおける不動産周辺ビジネスを強化することを目的として実施したものであり、両社のノウハウや事業基盤を共有し、同事業の更なる拡大を図りたいと考えております。

今後については、不動産周辺ビジネスに領域を限定せ

ず、新しいビジネスへの目利き力を養いながら、企業価値向上に繋がる挑戦をしてまいります。また、なにより大事なのが買収後の経営力・事業運営力だと考えており、その面を支える人材は社内育成だけでなく、キャリア採用を実施するなど様々な形で強化していくつもりです。歴史を受け継ぎながら、新たな時代を生き抜くことのできる企業にしていかなければならないという使命感を持って取り組んでまいります。

Q 人材面の強化に向けて、具体的にどのような取り組みをお考えでしょうか。

A. 数年前から研修体系の見直しやメンタルケアの導入など具体的な施策を推進しています。

また、私たちは、これらの変革の中で創業150周年を迎えたことを機に、“企業理念”について今一度考え直そうと取り組んでいます。ミッションや経営戦略、行動指針の全てが繋がりが、それが一人ひとりに腹落ちした状態で、企業価値を向上させるという同じ目標に向かって進むことができるよう、各部からメンバーを集め、全社で横断的に議論を重ねています。立場や年齢に関係なく、一人ひとりが現状抱えている課題や自らのミッション、そしてこれからの当社グループにかける想いを語る姿を、とても頼もしく感じている一方で、まだまだ“伸びしろ”があると期待もしています。仲間から刺激を受け、新たな知識を学び、自分の頭で考え、時には悩み抜き、建設的に意見をぶつけ合うといった経験を繰り返しながら一回り大きくなってもらいたいと願っています。各メンバーを起点にして、自身の所属部課に対して説

明や意見の集約を行うことで、社員一人ひとりの納得感や全社の一体感の醸成に繋げていきたいと考えています。

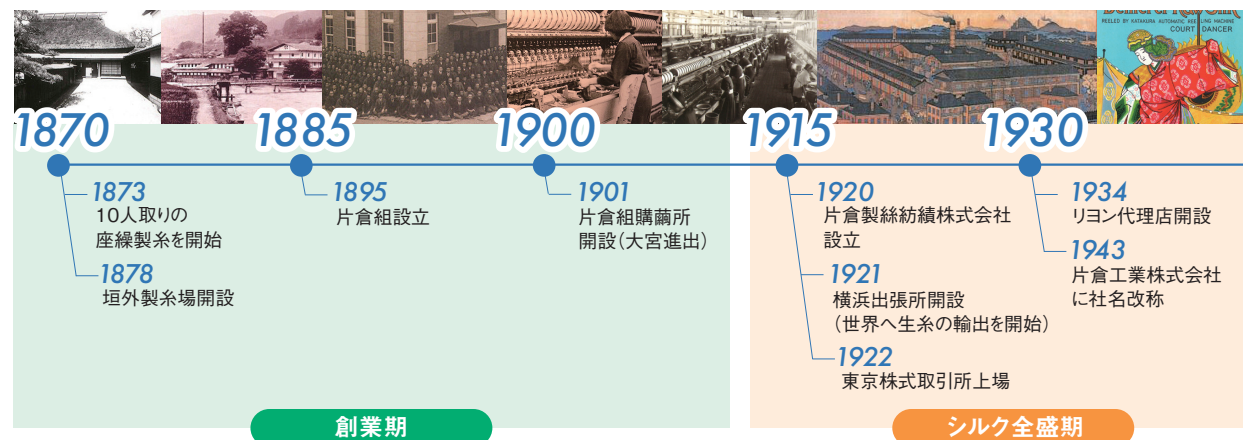
社員に対しては、当社の未来を託していくにあたり、今後、どんな厳しい局面でも乗り越えていける強い人材となるよう、“凡事徹底”はもちろんのこと、様々な経験を通じて領域を広げ成長して欲しいと考えています。守るべき規律は守りながらも、壁を突破できる力を身に付けて欲しいです。また、一緒に戦っていく仲間同士で多様性を認め合いながら、ベースの部分では強い結びつきを持ってもらいたいです。私も、親心を持ちながらも、時には心を鬼にして(笑)社員を鍛えていかなければいけないと思っています。

当社グループ一丸となって企業価値向上を目指してまいりますので、株主様におかれましては、当社の10年後、20年後、30年後にご期待いただきながら、引き続きお力添えいただきますようお願い申し上げます。

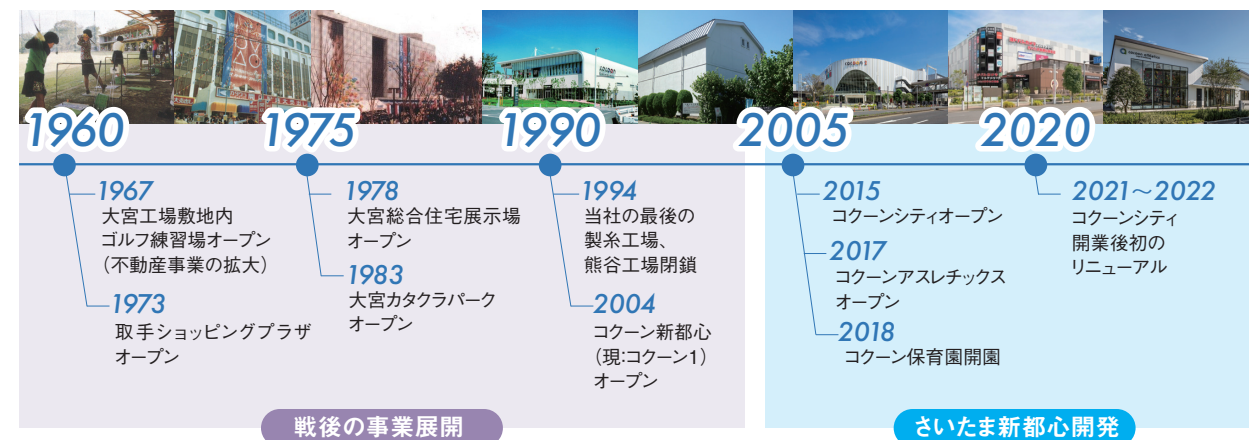


創業150周年記念特集

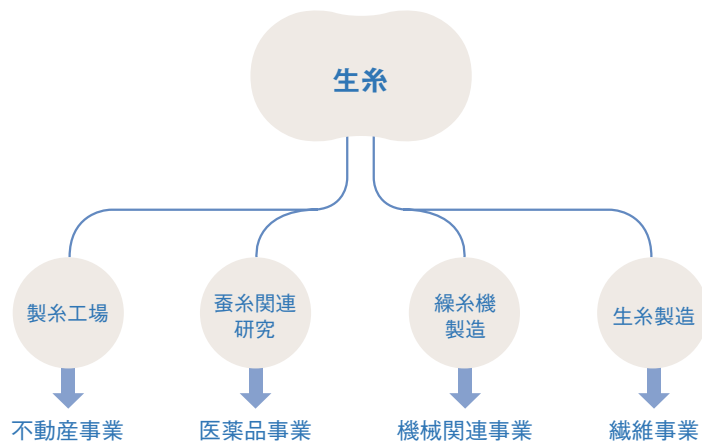
150周年のあゆみ



片倉工業は、1873年の創業から150年間に亘り、社会や地域の皆様とともに歩んできました。皆様への感謝を胸に、これからもお客様の期待に応えられる商品やサービスを提供しつづけてまいります。



カタクラグループの事業展開



当社はシルクを通じて広く社会に親しまれ、近代産業の発展に大きく貢献してまいりました。

しかしながら、第二次世界大戦終結後、日本の製糸業を取り巻く環境は厳しさを増し、当社も製糸業の縮小を余儀なくされました。

現在は、製糸業から引き継いだ有形無形の経営資源を活用し、時代とともに多様化する社会のニーズに応えるべく、不動産事業・医薬品事業・機械関連事業・繊維事業を展開しております。

片倉工業と富岡製糸場

当社は、1939年から富岡製糸場の民間最後のオーナーを務めました。1987年の操業停止後も、富岡製糸場の歴史的・文化的価値を重視し、原型のまま後世に残すために、2005年までの18年間、現地に管理事務所を設置し、「売らない」「貸さない」「壊さない」の姿勢で建物の保全管理に努めました。

そして、2005年、富岡製糸場の建物等を富岡市に寄付しました。現在も、株主優待にて、富岡製糸場への寄付を選択できる制度を設けております。本寄付金は、富岡製糸場の保全管理や今後の活動に役立てられています。

- 2006年 重要文化財指定(富岡製糸場の主な建造物)
- 2014年 世界遺産登録(富岡製糸場と絹産業遺産群)
- 2014年 国宝指定(繰糸所・東置繭所・西置繭所の三棟)



画像提供:富岡市

Staff Interviews

社員インタビュー

カタクラの未来をつくる“仕事”と“人”

200年企業を目指して、一人ひとりが主体性を持ち、様々なポジションで業務に尽力しています。カタクラの現在、そして未来を担うメンバー達をご紹介します。



取締役執行役員
企画部長
水澤さん

会社と従業員が成長するための基盤を作る

取締役として、グループ全体の経営課題に向き合うだけでなく、課題への取り組みの基盤となる“体制の整備”も担っています。

当社グループの「守り」の側面を強化する観点から、コンプライアンス教育を含むグループ全体のリスクマネジメントの充実を図り、ガバナンスの強化に努めています。

また、従業員とのコミュニケーションを通じて得られた“気付き”を大切にしながら、各種制度改定や、働く環境の整備に反映していきたいです。

今後も、従業員一人ひとりの活躍を後押しできる基盤づくりに努めます。

一人ひとりが“自分ごと”として当社の未来を考える

当社は年齢や立場に関係なく意見を発信することが習慣化しており、恵まれていると感じる一方で、「課題を“自分ごと”として捉え、自分の頭で考えた意見を持つ」ことの大切さや責任の重さを感じます。一人ひとりの日々の積み重ねが当社の未来に繋がるという意識を強く持ち、意思決定を支える組織の一員として自身の役割を果たし、貢献していきたいです。

企画部
水野さん



専門知識を活かし、経営や事業部をバックアップ

私は、会計士の知見・経験を活かし、キャリア採用で2020年から当社の一員となり、現在は連結決算数字のとりまとめを行っています。

当社グループの決算業務は、報告された数字を集計するだけではありません。経理部の各メンバーが各事業部の定例会議等にも参加して、事業状況や課題等を把握し、コミュニケーションを取りながら、事業部をサポートすることが求められます。

今後も、専門知識を活かしながら、当社グループ事業への理解を更に深め経営や事業部をバックアップしていきたいです。



経理部
山崎さん

未来を予測しながら、自分の感性をカタチにする

コクーンシティのテナント計画を検討し、交渉、誘致を行うのがリーシング室の業務です。検討においては、お客様のニーズを捉えるだけでなく、時代がどのように変化していくのか、その中でコクーンシティのブランディングがどうあるべきかを考える必要があります。商業は移り変わりが激しく、直近では、ECの急速な発展によって、リアル店舗の役割も再度見直され始めていますが、だからこそ自分なりのアイデアを発信し、チームで意見交換をしながらカタチにすることで、リアル店舗ならではのコクーンシティの価値向上に寄与していきたいです。



不動産事業部
リーシング室
細川さん



不動産事業部
コクーンシティ営業課
小林さん

“コクーンシティらしさ”を追求し、熱意をもって運営する

営業課では、館の魅力を最大化するため、出店テナントとコミュニケーションを取り、売上拡大に向けた取り組みを企画・実行しています。当社では、世代にとらわれずに、積極的に意見を出し合い、主体的に業務に関われる風土があると思います。お客様の目線に立ち、自分たちのやるべきことを真剣に考え、熱意をもって取り組むことで、コクーンシティの価値や魅力を今後も拡大していきたいです。

様々な経験の中で培った“挑戦する姿勢”

入社以来、不動産事業や新規事業等を経験し、現在はインナーウェア等衣類品の製造・販売を手掛けるグループ会社で経営に携わっています。これまで様々な事業を経験する中で、時には苦しみもありましたが、挑戦を厭わない姿勢が培われました。当社では、年齢に関わらず、様々なチャンスを与えてくれる環境にあり、これは自分自身のモチベーションにも繋がっています。これからも自分らしさを活かしながら、課題に取り組みます。



オグランジャパン株式会社
(グループ会社)
上村さん



人事総務室
七ツ役さん

人材の価値を最大限に引き出し、持続的な成長に繋げる

私の役割は、各種研修やメンタルケア等を通じて課題に向き合う従業員をサポートし、業務の領域を広げ活躍機会を増やすことです。一人ひとりが自律的に学び価値を高めることで、当社の持続的な成長に繋げていきたいです。

また、規律ある中で多様性を一層認め合える組織を目指し、多面的にサポートしていきたいと思っています。

COCOON CITY
Saitama-Shintoshin

コクーンシティ通信
Journal

開業後初の大型リニューアルを実施し、テナントの顔ぶれを充実



2015年の開業から満7年を経過したコクーンシティ（JRさいたま新都心駅前）。「Go Relax-ここよさとつながる街へ-」をテーマに、毎日をもっと自分らしく心地よく暮らすための「モノ」、家族や友人とつながる「コト」や「トキ」、空が広く緑の多いリラックスした「空間」をご用意して、皆様の毎日に心地よいライフスタイルを提案しております。

2021年より段階的に進めてきたテナントリニューアルでは、「もっと便利に、もっと楽しく」をコンセプトに、全65店舗が新たにオープンしました。コクーン2エントランスの屋外環境整備など、「また訪れたい魅力あふれる施設」を目指してまいります。

人気海外ブランドなどファッション充実

コクーン2 2階のファッションゾーンに多くの店舗が出店しました。国内人気ファッションブランドの「UNITED ARROWS green label relaxing」やスポーツブランドの「デザート」に加え、人気海外ブランドが多数オープンしました。由緒ある伝統とフレッシュな世界観を持ち合わせたライフスタイルブランド「ポロラルフローレン」、革新的なデザインが特長の「カルバンクライン」、遊び心と上品さを備えた「トミーヒルフィガー」など、これまでなかったワンランク上のこだわりにもこたえる人気海外ブランドを集めました。



こだわりの詰まった「食」

ガトーラスクが人気の洋菓子店「ガトーフェスタハラダ」と栃木県那須発の『御用邸チーズケーキ』で有名な「チーズガーデン」がカフェを併設して出店しました。他にも和菓子の魅力を今の時代にアレンジした「オハギサン」やバルセロナ発祥のキャンディショップ「パパプブレ」、「ザ・ジャパニーズ・グルメストア」をコンセプトに各地のおいしいものを取り扱う食の専門店「久世福商店」など、こだわりの詰まった個性豊かな食店舗が充実しました。



上質で個性豊かに生活を彩るインテリアショップ

永く大切に使うことのできるシンプルで温かみのある家具を中心に、衣食住幅広い商品で「丁寧な暮らし」を提供する「アクタス」。本物志向の家具に加え、遊びゴコロのあるインテリア雑貨やアートなどを多数取り揃える「リビングハウス」。皆様の生活シーンを彩る、上質で個性豊かなインテリア・ライフスタイルショップが仲間入りしました。



開放的な屋外くつろぎ空間が登場

緑豊かな空間もコクーンシティの大きな魅力。PARK MALL（パークモール）をコンセプトに、心地よい空間で食事をしたり読書をしたり、お買い物のひと休みに。思い思いの時間を過ごせる屋外のくつろぎ空間が4月上旬（予定）に登場します。



人的資本の拡充に向けた取り組み

ステークホルダーの皆様に対して、持続的に価値を提供できるよう、従業員一人ひとりが自分らしく成長し、活躍の場を広げられる組織づくりを推進しております。

ACTION 01 多様なライフスタイルを支える勤務制度や環境の整備

ワークライフバランスを実現するための制度

- **スライド勤務制度**
8時～10時の間で出勤時間の選択が可能
- **時間休の導入**
1時間単位で有給休暇制度の取得が可能
- **連続休暇取得推奨**
土日と合わせて9連休の取得を推奨
- **産休・育児休暇制度**

働く環境の整備

- **サテライトオフィスの整備**
- **業務集中スペースの設置**
間仕切りを設置した半個室のスペース
- **在宅勤務制度**
在宅勤務手当を支給

VOICE

従業員の声

“推し活”に励む際にスライド勤務や時間休を利用しています！制度を利用することで、ゴールから逆算して効率的に業務に取り組むという意識が高まり、プライベートも充実させることができています。(20代・管理部門)

ちょっとした通院の際にスライド勤務を利用しています。自身の業務が立て込むタイミングであっても就業時間は削らずに調整ができ、通院を先送りせず済むので安心できます。(50代・管理部門)

サテライトオフィスが自宅から近いので、週に何度か利用しています。(30代・衣料品事業室)

スライド勤務制度を利用し、子どもを幼稚園へ送り届けてから10時に出勤しています。自身の成長のため、業務をやり遂げるという点は譲りたくない部分でしたので、家族との時間を確保しながら、両立できる制度はありがたいです。(30代・不動産事業部)

資料作成や情報のインプット等、集中して作業をしたい時に「業務集中スペース」を利用しています。人目や電話を気にせず、効率よく作業できるので、非常に助かっています。(20代・管理部門)

1か月間の育児休暇を取得しました。チーム内で業務を配分してくれたので、安心して休暇に入ることができました。今後、取得を希望する人がいたら周囲で協力し合いたいと思います。(30代・不動産事業部)

ACTION

02 役職員向けの研修の実施

従業員一人ひとりの価値を高めるための多様な研修プログラムを実施しております。課題に向き合う従業員のメンタル面を支える施策も導入しており、多面的にサポートできる仕組みの構築・アップデートを行っております。

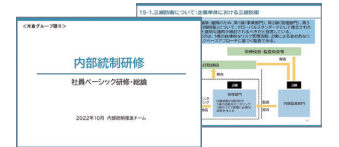
研修の全体図

		職 級						
		役員	部長	課長	主任	中堅	若手	新人
研修種類	全体	内部統制研修 ★1						
		メンタルヘルス研修(2023年上期導入予定)						
		コミュニケーション支援ツールの活用 ★3						
	階層別		部長職研修	課長職研修	階層別研修(1～3年目・4年目以降・主任) ★2		新人研修	
	その他	戦略実践		指導担当者研修(育成責任者、指導担当者、メンター)				
		ライフプラン研修						

PICK UP

★1 内部統制研修

“当社グループの役職員”を対象にした研修です。内部統制に係る理解促進・知識を定着させ、ガバナンス体制を強化するため、全体感を学ぶ総論の集合研修や、各自の都合に合わせて短時間で受講できるテーマ別の動画研修を実施しております。



内部統制研修の資料

★2 階層別研修

階層別に求められる、役割や基礎的なスキルを学習する研修です。社長講話の時間も設けており、当社グループの現状、業務に取り組むにあたり大事な姿勢、経験を通じて培われた知識などを自らの言葉で発信しています。



部長職研修の様子

★3 コミュニケーション支援ツール(INSIDES)

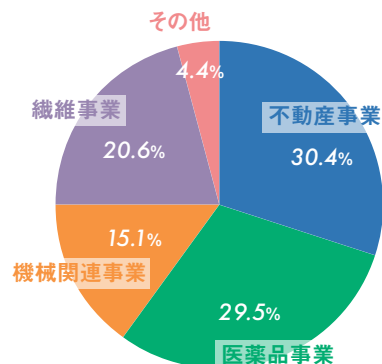
3か月毎に30問程の簡単な質問に回答することで、自身の性格タイプや現状の心理状況を把握できるツールを全社員に導入しております。自らを知ると同時に、上司や部下の考え方の傾向に合わせたアドバイスも貰えるので、一緒に働くメンバー同士が一層理解し合えるよう、役立てて欲しいと考えております。



INSIDES 診断結果イメージ

出典：株式会社リクルートマネジメントソリューションズ

事業部門の概況

セグメント別売上高構成
(2022年12月期)

機械関連事業

消防自動車の製造・販売

売上高 営業利益

5,187 百万円 **△275** 百万円

(前期比 △27.7%) (前期比 ー%)

機械関連事業は、消防自動車事業で新型コロナウイルス感染症拡大の影響による地方公共団体からの更新需要の減少等により減収となりました。

不動産事業

ショッピングセンターの運営、不動産賃貸

売上高 営業利益

10,415 百万円 **3,946** 百万円

(前期比 +2.9%) (前期比 +9.9%)

不動産事業は、当社運営のショッピングセンター「コクーンシティ」においてテナント売上が回復傾向にあることや、2021年10月に開業した福島ショッピングセンターが当期は通年寄与したこと等により増収となりました。

繊維事業

肌着、靴下、絹製品、カジュアルインナー、機能性繊維の製造・販売、ブランドライセンス業等

売上高 営業利益

7,045 百万円 **443** 百万円

(前期比 +8.5%) (前期比 +283.7%)

繊維事業は、実用衣料の肌着及び耐熱性繊維等の機能性繊維が堅調に推移したことにより増収となりました。

医薬品事業

医療用医薬品の製造・販売

売上高 営業利益

10,128 百万円 **△1,940** 百万円

(前期比 △16.5%) (前期比 ー%)

医薬品事業は、自社販売体制への商流切り替えのための一時的な販売減や薬価改定等により減収となりました。

その他

ビル管理サービス、訪花昆虫の販売等

売上高 営業利益

1,497 百万円 **150** 百万円

(前期比 △12.1%) (前期比 +8.1%)

収益認識に関する会計基準等の適用により売上高が1億61百万円減少したほか、訪花昆虫の出荷減等により減収となりました。

会社概要・株式の状況

会社概要

商号 片倉工業株式会社
 本社所在地 東京都中央区明石町6番4号
 会社設立 1920年3月23日
 資本金 18億1,729万5,000円
 (2022年12月31日現在)
 従業員 104名(2022年12月31日現在)

役員 (2023年3月30日現在)

取締役会長 佐野 公哉	常勤監査役 吉田 伸広
代表取締役社長 上甲 亮祐	常勤監査役 五位 潤 洋
取締役執行役員 水澤 健一	社外監査役 前田 勝生
取締役執行役員 栗原 修	社外監査役 尾崎 眞二
取締役執行役員 山田 有歩	執行役員 柿本 勝博
社外取締役 大室 康一	執行役員 片倉 義則
社外取締役 桑原 道夫	執行役員 北橋 昭彦
社外取締役 金丸 哲也	

株主メモ

事業年度 1月1日から12月31日まで
 定時株主総会 毎年3月下旬
 基準日 定時株主総会の議決権及び
 期末配当については毎年12月31日
 100株
 単元株式数
 公告方法 当社ホームページ内の下記アドレスに掲載します
<https://www.katakura.co.jp/ir/public/>
 ※やむを得ない事由により、電子公告によることが
 できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
 株主名簿管理人及び
 特別口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
 みずほ信託銀行株式会社
 〒168-8507
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
 0120-288-324(フリーダイヤル)
 郵便物送付先
 お問い合わせ先 みずほ信託銀行株式会社
 特別口座に関する
 事務取次所 全国各支店

株式の状況 (2022年12月31日現在)

発行可能株式総数 140,000,000株
 発行済株式の総数 35,215,000株
 株主数 12,456名

大株主の状況 (2022年12月31日現在)

株主名	持株数	持株比率
ASO GROUP Limited	3,490千株	10.48%
三井物産株式会社	2,200千株	6.61%
みずほ信託銀行株式会社 (信託口)	2,043千株	6.13%
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	1,886千株	5.66%
損害保険ジャパン株式会社	1,715千株	5.15%
農林中央金庫	1,690千株	5.07%
株式会社みずほ銀行	1,662千株	4.99%
大成建設株式会社	1,400千株	4.20%
明治安田生命保険相互会社	999千株	3.00%
東京建物株式会社	980千株	2.94%

(注) 当社は、自己株式持株1,908,266株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。なお、持株比率は自己株式(1,908,266株)を控除して計算しております。
 (注) 持株比率は、表示単位未満の端数を四捨五入にて表示しております。

所有者別分布状況 (2022年12月31日現在)

